

かまクロ

発行：鎌ヶ谷市市民活動推進センター 発行月：平成28年2月 No.35

鎌ヶ谷クロスフィールド

かまクロとは？！

鎌ヶ谷市は4つの鉄道路線が乗り入れ、交差する「人と文化の交流拠点」として日々発展を続けるまちであり、自治会、市民公益活動団体、企業、行政など鎌ヶ谷にある様々な組織が、その垣根を越えて“縁”を「クロス」- 交差 - するという思いを込めています。



— かまがや市民活動フェスタ —

昨年度に引き続き第2回目の開催となったかまがや市民活動フェスタ。
子どもとシニアの世代間交流が盛んに行われ、大盛況のうちに幕を閉じました！

Contents

- ◆「かまクロ」とは?!/市民活動フェスタの様子（写真紹介）・・・・・・・・・・P1
- ◆地域づくりコーディネーターSTEP1,2 報告/今後のコーディネーター養成講座・・・・・・・・P2・P3・P4
- ◆かまがや市民活動フェスタ 2015 特集・・・・・・・・・・P5
- ◆市民活動支援補助金情報/センター利用案内・・・・・・・・・・P6

かまがや地域づくりコーディネーター養成講座2015

実施報告

地域づくりコーディネーターってなんだろう？

輝く人がいるから、まちが輝く。まちづくりに必要なのは、確かな知識と行動力です。
地域づくりコーディネーターとは、地域の課題や魅力を「見つけて」、「聞く」ことや、さまざまな人々を「つなぐ」橋渡し役となるなど、市民活動をサポートする人材です。
そのような市民活動を支える人材を育成するため、10月25日（日）に「かまがや地域づくりコーディネーター養成講座2015」が開講しました。
今号では、STEP1、STEP2の講座を振り返り、これまでに学んだことを再確認してみます。
このだよりを手にとった皆様も、ぜひこれを機に、地域づくりコーディネーターを目指してみませんか。

STEP
1

テーマ	「少子高齢化から学ぶ地域活性化の今とこれから ～コーディネーターという名の“英雄”を今！～」
講師	市民活動推進センター プロジェクトマネージャー 影山貴大
実施日	平成27年10月25日（日） まなびいプラザ

by 影山

現在におけるコーディネーターの必要性と役割についてお話ししました

前半は少子高齢化の進む社会に対して、結婚し子育てしやすい環境づくりや、若者やシニア層の雇用の確保等、地方創生を進めていくために、平成27年度から5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す地方版総合戦略が各地域で策定されている現状をお話しし、後半では今後様々な課題が表面化していく中、地域活性化を行っていくには、1つの媒体だけでなく、様々な媒体の力を繋ぎ合わせる“協働”によって臨む必要があり、そのパイプ役としてコーディネーターという存在が必要である旨をお話しました。

最後はワークショップで、鎌ケ谷の課題として感じていること、そしてその課題の中で“自分”が解決できるものはどんなものかについて焦点を絞り議論をしました。

ワークショップの様子



参加者の視点！

印象的だったお話は2つありました！

1つ目は、コーディネーターがリーダーとしてその街を引っ張るのではなく、あくまで住民の方たちの力を引き出し、住民の方たちが街の主役となるためにフォローをしていく“ファシリテーター型コーディネーター”が必要とされているということ。

2つ目は、タイトルにある“英雄”とは、「時代の転換期において人々から必要とされた人であり、将来的には“英雄”の役目は終わる。一方でコーディネーターとは今この瞬間には必要とされているが、本来は人と人が繋がるのに中間はいらない。その意味において、コーディネーターはまさしく“英雄”に近いものがあり、そして何よりコーディネーターが人々に希望を与える存在であることを強調し、タイトルに用いた。」とのことでした。なるほど～、深いですね！

STEP
2

テーマ	「いろんな“縁”を繋げて創る可能性 ～地域の縁を繋げてプロジェクトを起こす～」
講師	（一社）コレカラ・サポート 代表理事 千葉晃一氏
実施日	平成27年11月15日（日） まなびいプラザ

STEP1の「少子高齢化から学ぶ地域活性化の今とこれから」では、「コーディネーターの必要性と役割」について学び、またその中で実施した、鎌ケ谷市の課題を問うワークショップでは、「居場所づくり」が多く挙げられました。

そのため、STEP2ではテーマを「居場所づくり」とし、一般社団法人コレカラ・サポートの代表理事を務められる傍ら、空き家を活用してコミュニティスペースとしてオープンさせ、地域コミュニティの再生に取り組む事業である「en プロジェクト」を立ち上げた経験をお持ちである千葉さんに、プロジェクトを始めるにはどうすれば良いのか、「はじめの一步」を踏み出す方法について学びました。

千葉さんについてもっと知りたい方はこちら（コレカラ・サポートHP）→<http://koresapo.moon.bindcloud.jp/>

QRコード→



ズバリ、プロジェクトの「はじめの一步」を踏み出すにはどうしたら良いのでしょうか？

一言で言うと、

「泥臭く動く！」

です！

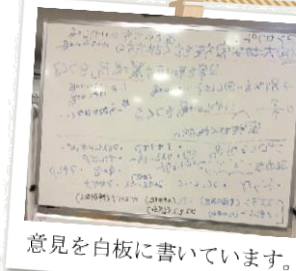


プロジェクトを始めるといって、まずは計画作りや、資金集めなどを想像して、すごく難しく感じてしまいますよね？

しかし、千葉さんは自身の経験から、最初に決めた計画は結局変わってしまうものであり、資金はなくても物品の寄付などでなんとかなることがわかったそうです。

それよりも、仲間と話し合う「場」をつくって議論し、そこで決まったことをどんどん実行していくなど、「泥臭く動く」方がプロジェクトは進んでいくとのこと。

下は、「en プロジェクト」で千葉さんがまず行った打合せの様子と、空き家を清掃している様子です。まさに「泥臭く」進めている様子がわかりますよね。



意見を白板に書いています。



近隣の人も巻き込んで、皆で清掃中



清掃が終わったら、皆で打ち上げ

参加してみて・・・

★STEP1では市民活動推進センターの影山プロジェクトマネージャーから、少子高齢化を迎える社会ではどのような不都合が生じているのかの再確認と、その地域で解決したい諸問題をかかえている人々と、地域の為に役立ちたいと思っている人々との関係を構築することが必要であると、具体的な事例を挙げてわかりやすく説明を受けました。

その関係を築くためにコーディネーターの存在が求められているということです。

他の参加者も、実際に課題を持って市民活動に取り組んでいる方々が多く見受けられ、真剣さが伝わってくるようでした。

STEP1の講座をととても楽しく受けることができたことで、次回以降の参加意欲も湧きました。

★STEP2の講師の千葉晃一さんは、地域のいろいろな「縁」を繋げてプロジェクトを起こして成功させた実績をもつ方です。実際には「enプロジェクト」を立ち上げ、空き家をコミュニティスペースとしてオープンさせ、現在も地域活性化に一役買っているらしいです。実際の成功事例に、私どもも興味深く拝聴し、ワークショップでも活発なやりとりがありました。

★今回の連続講座では、具体的にコーディネーターとは、どのような役割を果たすものか、どのように進んでいったらよいのかをいろいろな角度から学ぶために、その道で大きな成果をあげている組織の代表に来ていただき、実際の運営方法や考え方を学ぶことができました。

そして最終回であるSTEP5に向けて影山プロジェクトマネージャーから宿題がありました。それは、この講座を受けながら、何か活動している人など、頑張っている人をコーディネーターとして徹底的にフォローしてみようということです。講座を受けるだけでなく実際にコーディネーターとして活動してみようことで、何かを掴むことができそうです。

まだまだ続くよ！養成講座

今号ではSTEP1、2について報告しました。ですが、これは本講座のほんの一部！

次号はSTEP3、4、5について、詳しく報告していきたいと思います。

STEP3、4ではコーディネーターに絶対必要なスキル、ファシリテーションを学び、そして最終回のSTEP5では、コーディネーターとして地域で活動するために求められる覚悟について学びました。どの講座も講師、そして受講者の方々によって熱い時間となりましたので、ぜひ次号をお楽しみに！

小さな力も
集まれば大きく！

かがや市民活動フェスタ2015

この指とまれ～出会い、にぎわい、気づきあい～

H27. 11. 28(土)

参加団体 36団体(約370名)

来場者 1,100名

今年度で第2回目を迎えた市民活動フェスタは、多くの人に支えられ、大成功を収めました！

参加していただいた市民活動団体やご来場された皆様、本当にありがとうございました！



かがや市民活動フェスタ2015を終えて

かがや市民活動フェスタ2015実行委員
門馬 千衣

平成26年、かがや市民活動フェスタが「はじめの一步」を踏み出しました。安易に実行委員に手をあげましたため、消化不良を起こしながらの半年で、お役に立てたのかどうか分かりません。しかし、会議は、私にとりまして大変居心地の良い空間でした。同じ目的を持って活動することは快感です。それこそが市民活動の原動力ではないでしょうか。

今年度はメンバーが7名になりました。サブタイトルは「この指とまれ～出会い、にぎわい、気づきあい～」です。市内で活動する団体と団体、団体と市民が出会い、短い時間ではありますが交流し、お互いの存在に気づきあう。そんなイベントにしたいという思いを込めました。

1年を通して会議を重ねる中で、大枠が決まり、役割分担で作業をしていくと、皆からのアイデアがどんどん膨らんでいきました。そして前日、居心地の良い空間を作るため、スタッフ全員が、それぞれの出来る時間めいっぱい、壁面飾りやセッティングに取り組みました。差し入れを頂きながらのおしゃべりも楽しい思い出です。

いよいよ当日の朝がやってきました。雨にたたられた昨年とは打って変わり、さわやかな青空です。おのずと期待は高まりました。

開会後は、手慣れた参加団体の方々がそれぞれに力を発揮して下さっている中、ただただ右往左往していましたが、皆様に楽しんで頂いているという感覚が伝わってきました。誰よりも楽しませて頂いたのは私だったと自覚しています。

今回、新風を吹き込んで下さったのは、kidsパワー、ママさんパワー、高校生パワーです。おかげさまで来場者もたくさん来て頂きました。店舗前で行われた「よさこい」も圧巻でした。

協力していただきました団体の皆様をはじめ、沢山の方々にご参加、ご来場頂き、無事、閉会となりましたこと。皆様に感謝すると共にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともかがや市民活動フェスタをよろしくお願いいたします。

要チェック！耳寄り情報！ 地域のために頑張る団体に補助しています

実現する
ためには…



「地域のために役立つことをしてみたい。でもうちの団体にそんなお金ないし…」
そんな想いを持っている、そこのあなたに重要なお知らせです！

鎌ヶ谷市では、あなたの想いを実現できるよう、地域のために活動する「市民公益活動」に対し、補助金を交付しています。

補助金は交付団体ごとの成熟度に応じて2種類のコースを用意しているので、それぞれの団体の事情によって選べる制度となっています。

しかも、申請書の書き方や、審査時に注意することなど、気になる申請時のコツを市民活動推進センターや市役所の市民活動推進課で事前に相談することもできるんです。

この記事を見て、興味を持っていただいた団体の皆様！まずはお気軽にご連絡ください！

市民活動支援補助金について詳しく知りたい方はこちら↓

<http://www.city.kamagaya.chiba.jp/kakuka/shiminkatudo/document/kyoudou/plan/hojyokin.htm>



QRコードはこちら→



ご相談・連絡先

鎌ヶ谷市 市民活動推進センター（毎週火・金曜日）

047-401-0891

鎌ヶ谷市 市民活動推進課

047-445-1141（内205）

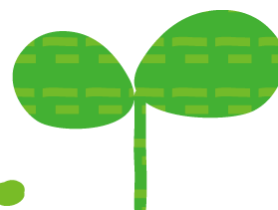
当センターからのお知らせ

当センターにあるミーティングテーブルは、登録団体となることで予約が可能となります。

他にも、登録団体は当センターホームページでイベントや会員募集などの情報発信もできます。

ぜひ、当センターに登録していただき、足を運んでみてください。

登録の手続きはこちらから→<http://www.collabo-kamagaya.jp/public-activity/>



↑ QRコードはこちら